



ミルクから離乳食に移行する時期は、赤ちゃんが初めて食べ物を受け入れる大切な期間です。嘔吐反射による動きがなくなってきたら、離乳食を開始しましょう。



生後5、6ヵ月頃

● 離乳食の開始

口に入った食べ物を嘔吐^{えんげ}反射(飲み込む)が出る位置まで送ることを覚える。
スプーンに口を入れても押し出すことが少なくなる。

支援のポイント

- 赤ちゃんの姿勢を少し後ろに傾けるようにする。
- 口に入った食べ物が口の前から奥へと少しずつ移動できるよう、なめらかにすりつぶす(ポタージュくらいの状態)。



7、8ヵ月頃

● 前歯が生え始める時期(平均)

下の歯：男子 8ヵ月±1ヵ月
女子 9ヵ月±1ヵ月
上の歯：男女10ヵ月±1ヵ月

乳歯が生え始める

口の前の方を使って食べ物を取り込み、舌と上顎^{うわあご}でつぶしていく動きを覚える。

支援のポイント

- 平らなスプーンを下唇にのせ、上唇が閉じるのを待つ。舌でつぶせる硬さ(豆腐くらいが目安)
- つぶした食べ物をひとまとめにする動きを覚え始めるので、飲み込みやすいようにとろみをつける工夫も必要。



9～11ヵ月頃

前歯が生えるにしたがって、前歯でかじりとり、ひと口の量を学習していく。

前歯が8本生えそろうのは、1歳前後

上下のあごが合わさるようになる

舌と上顎でつぶせないものを歯ぐきの上でつぶすことを覚える。

支援のポイント

- 丸み(くぼみ)のあるスプーンを下唇の上ので、上唇が閉じるのを待つ。軟らかめのものを前歯でかじりとらせる。
- 歯ぐきで押しつぶせる硬さ(指でつぶせるバナナくらいが目安)。



12～18ヵ月頃

● 奥歯が生え始める時期(平均)

下の歯：男子1歳4ヶ月±2ヶ月
女子1歳5ヶ月±1ヶ月
上の歯：男女1歳5ヶ月±1ヶ月
奥歯が生えてくるが、噛む力はまだ強くない。

奥歯が生えそろうのは、2歳6ヶ月～3歳6ヶ月頃

奥歯(第一臼歯^{あやうし})が生え始める

口へ詰め込みすぎたり、食べこぼしたりしながら、ひと口量を覚える。

手づかみ食べが上手になるとともに、食具を使った食べる動きを覚える。

支援のポイント

- 手づかみ食べを十分にさせる。
- 歯ぐきで噛みつぶせる硬さ(肉団子くらいが目安)。

